

# 「大丈夫」 心に寄り添う

## 魔法の言葉

### 人権標語

最優秀賞  
(三点)

大崎中学校 一年 市未 英茉

「大丈夫」

心に寄り添う 魔法の言葉



講師

大崎中学校 二年 宮路 陽輝

ちゃんと見て

外観じゃなくて 中身まで

大崎中学校 三年 ソルテスジュリアン

「昔は」「普通は」「当たり前」

自分の基準を 押しつけない



ふつうって何

中沖小学校 六年 中川 結心

みなさんは「ふつう」という言葉聞いてどう感じますか。ふつうとは、多数派のことなのでしょう。世の中には、「ふつうじゃない」とか「変わっている」とか言われて悩んでいる人もたくさんいます。男女の性に関しても同じです。女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくと思う人が多いと思います。でも、それが「ふつう」なのでしょう。

例えば、みなさんの周りに女の子だけだとスカートをはくのがきらいでサッカーが大好きという子や、男の子だけがおかし作りが好きでしぐさが女の子みたいな子がいたとします。みなさんはそのことをどう思いますか。女の子なのに、男の子なのに、と思う人

もいるのではないのでしょうか。だけど、その人本人にとって、それが当たり前なのです。私は、人々が平等な幸せを感じられることこそ「ふつう」だと思います。

私がこんなことを考えるよ

うになったきっかけは、あるテレビ番組で男性の歌い手の方が、心と体のちがいで悩んでいるということを知ったからです。その時「性同一性障害」という言葉も初めて知りました。私は、母に「性同一性障害」とは何なのか聞いてみました。すると母は、

「心と体の性がちがって生まれたてきた人のことだよ。」と、教えてくれました。なぜ心と体の性がちがって生まれてくるのだろうかと思いました。テレビで見た歌い手の方は、心と体の性がちがうことを周りの人にかくし続ける方がつらいから打ち明けた、と言っていました。でも打ち明けるまでずっと悩み続けたとも言っていました。だれにも言

い出せない長い時間がかかった一番の理由は、周りの人に受け入れられるかどうか、ふつうじゃない変わった人と思られないか、そういった不安のほうがやはり大きかったからだと思います。

もし私だったら、こわくてたぶん心の性をかくして、体の性そのままの子として生きていくかもしれないなと思いました。〇〇くんが好きや〇

「今」を自分らしく生きてこそ、「ふつう」だと思えば、きゅくつだった世界が広く感じられて生きやすくなる、私は思いました。そんな人を理解し、寄り添っていけるような人になりたいです。

〇ちゃんが好きなど、好きでもない人のことを好きとうそをついて、みんなに合わせようとすると思います。…でも、本当にそれでいいのでしょうか、きっと心は悲しいと思います。みんなとそろえているから、同じだから「ふつう」なのでしょう。みんなとちがっていても、ずれていても、心からみんなと今を幸せに生きていてこそ「ふつう」だと私は思います。もし自分の性別などで悩んでいる人がいたら、自分のことをよく分かっている友達や家族に打ち明けて、心を軽くしてもいいと思います。

